

平成17年10月20日

各 位

会 社 名 ターボリナックス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 矢野 広一
(大証HC・コード番号 3777)
問 い 合 わ せ 先 代表取締役財務統括兼経営企画
管理本部長 岡田 光信
電 話 番 号 03 - 6406 - 2928
(URL <http://www.turbolinux.co.jp>)

新製品「Turbolinux FUJI」発表のお知らせ

MS Officeを動作させる話題の"David"搭載、2年ぶりの待望のメジャーバージョンアップ
Active Directoryによるユーザー認証やファイル共有の相互通信など
Windowsとの互換性をさらに強めた最新標準デスクトップ・リナックスOS
2005年11月25日より販売開始

ターボリナックス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢野広一、以下ターボリナックス)は、ノートパソコンやデスクトップパソコンに最適なオペレーティングシステム(基本ソフト、以下OS)「Turbolinux FUJI (version 11)」(以下FUJI)を発表いたしました。

同新製品は、2003年10月にリリースされ、リナックスOS分野で52週(1年間)連続売上第一位(BCN調べ)を記録し、数年来国内売上シェア第一位を誇るターボリナックスの基幹デスクトップ製品「Turbolinux 10 Desktop」(以下10D)の後継製品にあたり、国産OSならではの完成された日本語環境はもちろん、10Dで提唱したWindowsとの互換性をさらに強め、安全性、安定性に優れたデスクトップ環境を提供します。Windows環境との共存の強化により、LinuxとWindowsの優位性を融合したハイブリッド・デスクトップリナックスOSとして、企業、官公庁、自治体、教育機関などへの導入をより一層スムーズなものとしします。

オフィスソフトとして互換性、操作性、相互運用性の全てが向上した「StarSuite」の最新バージョン8を収録したほか、主に人名、地名、現行法令や文部省検定済み教科書、文部省学術用語などに用いられる第三および第四水準のゴシック体、明朝体を含む「リコーTrueTypeフォント」を他社に先駆け標準搭載。さらに、日本語入力ソフトに最新版「ATOK for Linux」を採用するなど、一歩進んだ日本語環境を実現しています。

また、9月に日本市場独占販売権を発表したWindowsアプリケーションを動作させるWindows互換ミドルウェア「David」は、Windows環境で作成したMS OfficeファイルなどをFUJI上で開き、編集が行え、100%のファイル互換を要求するユーザーの強い要望に応えています。Davidの提供は、既存クライアント環境をLinuxクライアントに置き換える過渡期における最も現実的な解であり、これにより企業への導入に弾みがつくものと期待しています。

そして、自身のPCへの被害はなくても間接的な被害を及ぼしかねないWindows用ウィルスを検出・駆除するために、ロシア・カスペルスキー社のエンジンを搭載した「Turboアンチウィルス」の収録、暗号化フォルダ機能の実装など安全面での強化や、Active DirectoryにおけるLinux PCの認証管理を実現し、Windows/Linux混在環境において従来懸念事項とされてきたユーザー管理の負荷を大幅に軽減するなど、

企業への本格導入を見据えた意欲的な実装を行っています。

さらに、生産効率を著しく高める高速デスクトップ検索「Turboサーチ」やオープンソースソフトと独自ツールを融合させ、新たにカテゴリ化された「コントロールセンター」、Intel社無線LANファームウェア収録を含む無線LAN対応、複数のネットワーク設定を瞬時に変更する「Turboネットスイッチ」、セキュリティパッチ等の自動アップデート機能やブロードバンドコンテンツを楽しめる機能など、個人、法人を問わずあらゆる多彩な用途に対応した数々の新機能を新たに実装しています。

FUJIではOS本体とプラグインという新しいビジネスモデルを展開します。これにより、ユーザーは基幹OSであるFUJIを入手すれば、用途に応じてプラグインを足すだけで自分だけに特化したOSを利用することが可能となります。現時点において、ビジネスユース向けプラグイン、ホームユース向けプラグインやURLフィルタリングソフトなどセキュリティ関連プラグインの提供を予定していますが、都度ユーザーニーズを市場から汲み取り、タイムリーに新しいプラグインを提供することがFUJIの価値を高めるものと考えています。

なお、FUJI発売と同時にプラグイン第一弾としてサイバーリンク社の「PowerDVDfor Linux」が決定しており、これら各種プラグインは新ツール"Turboプラス"経由で提供し、ユーザーは簡単に購入、ダウンロード、インストールができるようになります。

前バージョンである10Dは、プリインストールパソコンとしてM C JのTL BOOKシリーズおよびTL Deskシリーズ、エプソンダイレクトのEndeavorシリーズ、さらに東京フォレックス・フィナンシャル、プロサイド、ソルダムから販売されたほか、三洋電機株式会社の医科システムへ搭載された実績などがあり、富士通FMVシリーズにおいては国内で唯一動作検証をしていただいていたいました。

FUJIはすでにM C JよりプリインストールPCの販売が決定しており、ターボリナックスではプリインストールおよびバンドルモデルへの採用促進に向けて今後積極的に展開していきます。

製品ラインは、「Turbolinux FUJI」および基本機能のみを搭載した「Turbolinux FUJI Basic」との2製品で、販売価格はTurbolinux FUJIが16,800円（税込）、Turbolinux FUJI Basicが5,800円（税込）。

2005年11月25日より全国の販売店ならびにTurbolinuxオンラインショップ（<http://www.turbolinux.co.jp/products/purchase/onlineshop.html>）にて販売を開始します。

なお、11月11日（金）から11月24日（木）まで、Turbolinuxオンラインショップにて先行予約を受け、先着1,000名にターボリナックスロゴ入りグッズをプレゼントします（Basicは対象外）。また、Turbolinux既存ユーザーに対してTurbolinux FUJIを優待価格11,000円（税込）で提供する予定です。

BasicにはDavid、StarSuite 8、ATOK for Linux、Turboアンチウィルス、リコー製TrueTypeフォントTLゴシック第三ノ第四水準、TL明朝第三ノ第四水準、TL丸ゴシック、TL教科書体、TL行書体は収録されていません。

なお、本製品発売による当社業績への影響は未定であります。

以上